



アップグレード



From:

<https://pandorafms.com/manual/!776/>

Permanent link:

https://pandorafms.com/manual/!776/ja/documentation/pandorafms/installation/02_anexo_upgrade

2024/06/10 14:34



アップグレード

[Pandora FMS ドキュメント一覧に戻る](#)

ワーブアップデート (アップデートマネージャ)

バージョン 762 (およびそれ以前)の場合は、[アップデートマネージャ](#) を利用してください。

- これは、[一般設定](#) でワーブアップデートの有効化(Enable Warp Update) が有効になっている場合のみ表示されます。
- Pandora FMS コンソールおよびサーバから、[インターネットへの接続](#)ができる必要があります。
- ワーブアップデート(Warp Update) は (Sourceforge 上で)利用可能な最新バージョンを見つけるためにサーバに接続します。
- 更新は自動的に行われ、99% 正常に機能するはずですが、必ず機能することを保証するわけではありません。
- 更新する Pandora FMS サーバがインターネット接続を制限された環境にある場合は、[オフライン更新](#)することもできます。

オンラインワーブアップデート

- オンラインのワーブアップデートでアップデートするためには登録が必要です。
- ワーブアップデートが我々のサーバに接続し、必要な更新を分析します。
- すでに最新の場合は、他のアクションを実行することなく現在アクティブなバージョンが表示されます。

オフラインワーブアップデート

E Enterprise 環境ではオフラインでアップグレードすることができます。ファイルをダウンロードするには、[サポートへ連絡ください](#)

オフラインワーブアップデートは、さまざまなタイプの [パッチ](#) をインストールすることもできます: コンソール (OUM)、サーバ (tar.gz)、および手動で組み合わせた [パッチ](#) (tar.gz)

オフラインパッチを適用すると、コンソールが使用できなくなる可能性があります。事前にファイルの[フルバックアップ](#)をお勧めします。

- バージョンのアップグレードの場合は、対応する OUM と tar.gz をダウンロードし、最初に OUM をインストールし、次に *tarball* をインストールする必要があります。
- ダウンロードしたら、ワーブアップデート(Warp Update) → オフラインワーブアップデート(Warp Update Offline) メニューへ行き、ファイル選択のために [ブラウズする\(Browse it\)](#) をクリックします
- 画面に表示された情報を確認し、更新または修正と一致するかどうかを確認してください。処理するには、右下隅にある緑色のアイコンをクリックし、コンソールに各処理の結果が表示されるまで待ちま

す。

ワーブアップデート履歴

行われた更新、バージョン、アプリケーションの日時、それを要求して適用したユーザなどを確認するには、ワーブアップデート(Warp Update) → ワーブアップデート履歴(Warp Update Journal) メニューへ行きます。

ワーブアップデート設定

Enterprise 版: 以下のフィールドを変更する前に[お問合せ](#)ください。

- ワーブアップデート URL(Warp Update URL)
- セキュアなワーブアップデートの利用(Use secured Warp Update)
- プロキシサーバ(Proxy server)
- プロキシポート(Proxy port)
- プロキシユーザ(Proxy user)
- プロキシパスワード(Proxy password)

- 連続しないパッチを許可する(Allow no-consecutive patches): 連続しない更新をインストールできるようにします。デフォルトでは無効になっており、無効が推奨です。
- LTS アップデートに制限(Limit to LTS updates): 長期サポートバージョンのみでの更新ができます。デフォルトで有効です。

手動アップデート

- Pandora FMS は、コンソール、サーバ、データベースの 3つの要素に分けることができます。
- Enterprise 版では、オープンソース版に比べて追加で対応する必要がある内容があります。
 - Enterprise ウェブコンソール (コンソールの拡張機能)
 - Enterprise サーバ (サーバ拡張機能)
 - データベース (Enterprise 版追加テーブル)
- 更新には、常にコンソールの変更、時々サーバの変更、まれにデータベースの変更(メジャーアップデート)を含みます。

マイナーバージョンアップ

1. データベースをバックアップします。例:

```
mysqldump -u root -p pandora > backup_pfms_X.Y.sql
```

2. 次の設定ファイルをバックアップします: pandora_server.conf, config.php, pandora_agent.conf

3. サーバおよびエージェントプラグインを次のようにバックアップします。

```
/etc/pandora/plugins  
pandora_console/attachment/plugin  
/usr/share/pandora_server/util/plugin
```

4. 次のサービスを停止します: pandora_server, tentacle_serverd, httpd, pandora_agent および mysqld

5. アップデートします。

6. 次のサービスを再起動します: pandora_server, tentacle_serverd, httpd, pandora_agent および mysqld

RPM パッケージにて

インストールするバージョンをダウンロードします。

<https://firefly.pandorafms.com/pandorafms/>

- オープンソースのコンソールアップデート:

```
rpm -U pandorafms_console*.rpm
```

- **E** Enterprise コンソールアップデート:

```
rpm -U pandorafms_console_enterprise_package.rpm
```

- オープンソースサーバアップデート:

```
rpm -U pandorafms_server*.rpm
```

- **E** tar.gz での Enterprise サーバアップデート:

```
tar -xvzf pandorafms_server_enterprise_package.tar.gz  
cd pandora_server  
./pandora_server_installer --install
```

- ソフトウェアエージェントアップデート:

```
rpm -U pandorafms_agent*.rpm
```

インストール前後で、どのバージョンで動いているか、以下のコマンドで確認できます。

```
rpm -qa | grep -i pandora
```

tar ボール、ソースにて

- <https://firefly.pandorafms.com/pandorafms/> へ行き、インストールしたバージョンより新しいものをダウンロードします。
- package をダウンロードしたバージョンの名前に置き換え、yourconsolepath をインストールされているコンソールのフルパスに置き換えます。
- オープンソースコンソールアップデート:

```
tar xvzf pandorafms_console_'package'.tar.gz
cd pandora_console
./pandora_console_upgrade -p /'yourconsolepath'
```

- **E** Enterprise コンソールアップデート:

```
tar xvzf pandorafms_console_enterprise_'package'.tar.gz
cd pandora_console
./pandora_console_upgrade -p /'yourconsolepath'
```

- オープンソースサーバアップデート:

```
tar xvzf pandorafms_server_'package'.tar.gz
cd pandora_server
./pandora_server_upgrade --upgrade
```

- **E** Enterprise サーバアップデート:

```
tar xvzf pandorafms_server_enterprise_'package'.tar.gz
cd pandora_server
./pandora_server_upgrade --upgrade
```

- ソフトウェアエージェントアップデート:

```
tar xvzf pandorafms_agent_'package'.tar.gz
cd pandora_agent
./pandora_agent_installer --force-install
```

メジャーアップデート

バージョン 7.0 NG ローリングリリース

通常は、アップデートマネージャを使用してコンソールを更新することをお勧めします。データベースが古い場合、ウェブコンソールにマイナーリリースが利用可能 というタイトルの通知が表示されます。

この問題を解決するにはPandora FMS コンソールがインストールされているサーバに入り、次のディレクトリに移動します。

```
/var/www/html/pandora_console/extras/mr
```

このディレクトリ内に、updated という名前の別のディレクトリがあります。そのディレクトリの外に適用されていないすべての MR があるので適用します。ファイル 1.sql (MR 1) の実行例:

```
cat 1.sql | mysql -u root -p pandora
```

データベースに SQL を適用したら、適用したファイルを updated ディレクトリに移します。

```
mkdir -p updated  
mv 1.sql updated/
```

そして MySQL の tconfig テーブルにある MR の値を更新します。

```
mysql -u root -p pandora> use pandora;> update tconfig set value= XX where  
token='MR';
```

どの MR が適用されている必要があるかは、[こちら](#)を確認してください。

アップデートマネージャを使った自動アップデート

- Webコンソールと Pandora FMS サーバが **インターネットアクセス** できる必要があります。
- アップデートマネージャ(Update manager) メニュー アップデートマネージャオンライン(Update manager online)
- 保留中のアップデートがあるかどうかと、コンソールの現在のバージョンが表示されます。
- 更新がある場合は、Ok を押してインストールします。
- 一部の更新にはデータベースの変更が含まれます。この場合は、MR を適用(apply MR) ボタンをクリックします。
- OK ボタンをクリックして更新処理を終了します。

Enterprise 版の更新

オープンソース版の更新とは異なり、追加の特徴があります。

- 開発チームによって 100% テストされています。そのため、公開されたと同時に(もしくは数時間以内に)更新することができます。
- 大きなパッケージをダウンロードする必要はなく、更新されたもののみを適用することができます。
- オフラインの更新ができます。サポートページからダウンロードして、(セキュリティの理由等で)インターネットに接続されていない Pandora FMS に適用できます。

E

Enterprise 版で アップデートマネージャ(Update Manager) を使用できるようにするには、まずアップデート用の設定を正しく行う必要があります。この設定には、アップデートマネージャ(Update manager) メニュー アップデートマネージャオプション(Update manager options) に独自のセ

クションがあります。

オープンソースオンラインアップデート

このプロセスは Enterprise 版と似ていますが、ライセンス認証の追加手順はありません。

Enterprise オフラインアップデート

E 拡張子 .OUM の Pandora FMS オフラインアップデートファイルをダウンロードできます。ダウンロードは、Pandora FMS の公式サポートページから行います。不明な場合は、[お問い合わせ](#)ください。

オフラインパッチを適用すると、コンソールが使用できなくなる可能性があります。最初に [完全バックアップ](#) を実行することをお勧めします。

- アップデートマネージャ(Update manager) → オフライン(Offline) メニューにアクセスし、参照(Browse it) ボタンを押して、ダウンロードした OUM ファイルを選択します。
- インストールするファイルをクリック(Click on file for install) をクリックします。
- アップデートはオンラインの場合と同じ操作の流れに従って適用され、コンソールやデータベースに変更があった場合には、それに対応するダイアログが表示されます。

高可用性 (HA) 環境にて更新する場合は、[こちらの章](#) に示されている内容を考慮する必要があります。

アップデートマネージャのための PHP の追加設定

オープンアップデートマネージャを正しく実行するには、php.ini ファイルで予約メモリを 800 MB に設定する必要があります。

```
memory_limit = 800M ; Maximum amount of memory a script may consume
```

php.ini の場所を確認するには、次のコマンドを実行します。

```
php -i | grep php.ini
```

ダウングレード

RPM パッケージより

- オープンソースのコンソールアップデート:


```
rpm -i --force pandorafms_console_package.rpm
```

- Enterprise 版コンソールのアップデート:

```
rpm -i --force pandorafms_console__enterprise_package.rpm
```

Tarball/ソースコードより

- オープンソースのコンソールアップデート:

```
tar -xvzf pandorafms_console_package.tar.gz  
mv --force ./pandora_console/* /yourconsolepath
```

- Enterprise 版コンソールのアップデート:

```
tar -xvzf pandorafms_console_package.tar.gz  
mv --force ./enterprise /yourconsolepath
```

[Pandora FMS ドキュメント一覧に戻る](#)